

あたたかい学校 でっかい夢
やっぱり日彰館！

日彰館高校の取組

オンライン校内研修
総合的な探究の時間
英語科



クラブ活動

それぞれのクラブ活動の活動報告です



学内研修

日彰館高等学校の教育内容、教育課程



総合的な探究の時間

説明会・入試試験の情報などのご案内です

お知らせ

- 令和2年5月26日 [平成31（令和元）年度諸費会計決算報告を掲載しました。](#)
- 令和2年5月22日 [スクールカウンセラーによる相談日のお知らせ ※PDFで開きます](#)
- 令和2年5月22日 [新型コロナウイルス感染症対策における雑巾持参について（お願い） ※PDFで開きます](#)
- 令和2年5月20日 [G Suiteを活用した本校の授業 ※PDFで開きます](#)
- 令和2年5月19日 [新型コロナウイルス感染症対策 日彰館高校での新しい生活様式（ポスター）・学校の対策の様子 ※PDFで開きます](#)

新型コロナウイルス
対策関連特設ページ

在校生・保護者の皆様へ

日彰館高等学校
今中 浩二

校内研修

- 分散勤務のため欠けてしまった情報共有,
意志疎通, チーム作りの場

時期	内容	形態
5月1日 (金)	臨時休業中の生徒へのアプローチについて ※その目的と手段(オンラインと非オンライン), 内容	Zoomウェブ 会議
5月14日 (木)	5月18日(月)からの休業期間のG Suite等を 活用した授業実施計画と授業づくりの共有	Zoomウェブ 会議
5月28日 (木)	ICT機器の使用方法和G Suiteの使い方	校内, 対面

2020.5.14オンライン校内研修時の吉田准教授からの各教科・総合での取組のまとめ

国語科：国語のサイト立ち上げ→ヒント動画・課題を提供→生徒からの応答←自前のオンライン活用
社会科：（話しあい前提のプリントから）教科書・Google Site・コンテンツリンクの活用←資料の活用
数学科：解答の提出→確認→小テスト＝フィードバックと交流←「わかりたい」に寄り添う
理科：（Google Classroomで）教科書を予習→問いを投稿→交流・フィードバック←思考の時間
保健体育科：体づくり運動←Classroomで指示←振り返り←「典型的・理想的なオンライン授業」
芸術科：NHK高校講座・学習プリント、道具・環境設定の難しさ←自主登校時のチャンス!!
外国語科：生徒がクイズ→Classroomで生徒同士の交流←教師－生徒間の交流
情報科：（チャットで）文字でのやりとりを中心に投稿を蓄積・交流＋NHK高校講座←相互交流
家庭科：コロナの実態調査課題→G Suiteで、課題を厳選、複数回のフィードバック←少人数の強み
総合的な探究の時間：各学年での課題とフィードバック→その交流

個々の学習進度・深度に応じて

自主登校との連動（例えば芸術科）

繰り返し学習が可能

郵送・オンラインの組み合わせ

コロナ下でしかできない学び

既存のコンテンツのリンク（NHK高校講座など）

日彰館で生徒・保護者・地域と一緒に 考えていきたい教育の姿

「あったかい学校」：学校に登校して感じさせたい「あたたかさ」とは

：学校に登校できなくても感じさせたい「あたたかさ」とは

：生徒との関わりで感じる「あたたかさ」とは

：地域・家庭で感じさせたい「あたたかさ」とは

「でっかい夢」：「吉舎で」「吉舎から」どんな人生・社会・学校を描けるか

教職員—生徒—保護者—地域間の
応答と評価（フィードバック）

日彰館高校 G Suite 活用事例

G Suite 活用のポイント

● フォームの活用

- ★生徒の生活リズムを整える
回答の制限時間を設定する。

● 科目クラスルームの設定、活用

- ★反転授業への移行の可能性
プリントを事前に配信しておく。
- ★既存のリソースの活用
・NHK 高校講座の活用
(動画、画像の両方に対応)
- ・掲載するものの著作権に留意する。

● サイトの活用

- ・授業の流れを一目で確認できる。
- ・生徒が自分のペースで学習内容等に簡単にアクセス可能。
- ・動画等の URL のリンクを張り付けることができる。

● スプレッドシートの活用

- ★やじりの設定
教員と生徒、生徒と生徒をつぐ
- ★つながる場の設定
共通した間違い、良い表現について
次時で全体へフィードバック

● 共有ドライブ・ドキュメントの活用

- ★ポートフォリオのデジタル化への可能性
・生徒が成果物を作成、提出、蓄積。

★ リスタートの場面を設定

時間帯	指導内容	G Suite 活用の具体
～8:45	健康観察 回答	8:45までに フォーム で健康観察に回答
8:45～8:55	SHR	1 各 HR Classroom ストリーム に本日の連絡事項を掲載する。 2 クラスコメントに「はい」と応答をさせる。
9:00～	生物 基礎	1 授業までに、使用するワークシートを掲載してプリントアウトしておくよう指示しておく。 2 生物基礎の Classroom ストリームに学習指示を掲載する。 3 NHK 高校講座の動画を視聴した後、教科書を参考にしてワークシートに取り組む。 4 ワークシートの解答をストリームに掲載し、答え合わせをするよう指示する。
11:00～	コミュニ ケーション 英語 I	1 コミュニケーション英語 I の Classroom のストリームに本日の授業 サイト のリンクを掲載する。 2 サイト“0518 授業開き”に本時の授業の流れを掲載する。Classroom のストリームに指示を掲載しながら、タイムマネジメントを行う。 3 自己紹介 ・ スプレッドシート の リンク を本日の授業サイトに掲載し、1枚のシートに同時に入力する。教員の英語の自己紹介例を参考にするようストリームで指示する。 ・スプレッドシートにアクセスできない生徒には、提出場所を提示し、 ドキュメント 等で共有ドライブへ提出するようストリームで指示する。 4 サイトに掲載した科目のシラバス (PDF)、Can-Do リスト (PDF)、授業ルール (ドキュメント)を読むよう、Classroom のストリームで指示する。サイトに掲載した本単元の目標と評価規準を読むよう、ストリームで指示する。ストリームで随時質問に回答する。 5 Break Time 授業の Classroom のストリームに YouTube の URL を掲載する。本日のおすすめの洋楽を紹介し、生徒が授業で リスタートする機会 を設定する。 6 Lesson 1 速読練習 ・Site にワークシート (PDF) を掲載しておき、ストリームに取組方法の具体を掲載する。読み始めの時間と読み終わりの時間を記録し、WPM (1分間に読んだ語数)をワークシートに書き込むよう指示する。ストリームで随時質問に回答する。 ・生徒は TF 問題に解答する。 ・生徒はストリームに WPM を報告する。 ・TF 問題の解答と解答の根拠説明 (PDF) をストリームに掲載する。 7 振り返り ・振り返りシート (PDF, Excel) をストリームに掲載し、共有 ドライブ に提出するようストリームで指示する。 8 まとめ ・次回のオンライン授業までの課題指示及び課題配布をストリームで行う。 ・課題: L1 単語リスト (PDF, Excel) の取組 (辞書で品詞、意味等を調べて記入)



目標	外国語理解の能力	外国語表現の能力	知識・理解
自分の知っている表現や単語の活用を用いて積極的に英語を使う。	英文の概要や要点を適切に適切に理解する。	自分の名前を音字から書ける。名前から音字の読み方を説明できる。	国や文化によって、名前の表し方が異なることを知ること。また、その背景を理解している。

評価規準	外国語理解の能力	外国語表現の能力	知識・理解
自分の知っている表現や単語の活用を用いて積極的に英語を使う。	英文の概要や要点を適切に適切に理解する。	自分の名前を音字から書ける。名前から音字の読み方を説明できる。	国や文化によって、名前の表し方が異なることを知ること。また、その背景を理解している。

I like watching movies.	I like cats.	I can play Kendo.	I have been to Osaka twice.
I like watching TV.	I like pig.	I can play volleyball.	I have been to Fukuoka twice.
I like listening to music.	I like dog.	I can play shogi.	I have been to Kyoto once.
I like reading books.	I like dog.	I can play tennis.	I have been to Osaka once.
I like listening to music.	I like cats.	I can play the piano.	I have been to Kyoto once.
I like fishing.	I like dogs.	I can play judo.	I have been to Kyoto once.
I like watching TV.	I like dogs.	I can play the piano.	I have been to Tokyo twice.
I like running.	I like cats.	I can run fast.	I have been to Osaka twice.
I like eating sweets.	I like cats.	I can play table tennis.	I have been to Tokyo once.
I like playing games.	I like dogs.	I can play shogi.	I have been to Shiga once.
I like to travel.	I like dogs.	I can play table tennis.	I have been to Fukuoka once.
I like watching TV.	I like dogs.	I can play basketball.	I have been to Tokyo twice.

オンライン授業（総合的な探究の時間）

- 各学年に**レポート課題** (5/11~5/15)※online提出

学年	レポート課題内容
1年生	新型コロナが与えた大学への影響（大学の取組も含めて）
2年生	台湾と日本と（ ）の新型コロナ対策の比較 ※修学旅行先が台湾
3年生	自分で課題設定している分野へ新型コロナが与えた影響

- オンライン授業① (5/21or22)

学年内で他者のレポートを読み，学びを深める。

- オンライン授業② (5/28or29)

他学年のレポートを読み，3年間をつなげて自分の在り方を考える。

オンライン授業② (5/28or29)

他学年のレポートを読み，3年間をつなげて自分の在り方を考える。

生徒のコメントは、HP上では非公開

3年生から1年生へのフィードバック

「新型コロナが与えた大学への影響」

生徒のコメントは、HP上では非公開

3年生から2年生へのフィードバック

「台湾と日本と()の新型コロナ対策の比較」

生徒のコメントは、HP上では非公開

オンライン授業（C英語Ⅲ）

- G Suite Classroomを使ったリアルタイム授業

“Shortened Words”（省略語）

①生徒に省略語クイズを出させる。（答える）

②省略語に対する世の捉え方を読み取る。

③筆者の意見を読み取る。

→The author may agree with using shortened words. が合っているか、理由を記述

④振り返りを生徒の解答提出と振り返りコメントを抜粋して紹介。
（授業の30分後にアップ）

日彰館の取組をどう見るか

吉田成章（広島大学）

教職員—生徒—保護者—地域間の 応答と評価（フィードバック）

- ・ 学校としての取組のコンセプトと具体的な手立ての共有
- ・ 3年生の進路選択にも貢献できる1年生の学びの意義
- ・ 「日彰館の1年生」という自覚を促すためのフィードバック
- ・ 子ども同士の「応答」の組織化
- ・ オンラインとオフラインとの使い分け→持続可能性